

正しい取り付け  
正しい操作で  
安全運転

仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。

本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

本製品は国内専用です。



アルパイン株式会社 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号  
お問い合わせはインフォメーションセンターへ

TEL : 03-3779-0711 FAX : 03-3494-1767

電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面（FAXまたはハガキ等）をご利用ください。

電話受付時間 9:30～17:30（平日の12:00～13:30と土日、祝祭日は除く）  
FAXは、24時間受付けております。

Designed by ALPINE Japan Printed in Japan (T) 68P11646Y77-O



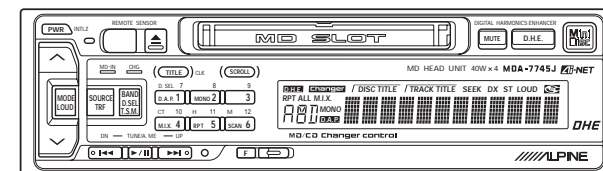
# MDA-7745J

MDヘッド・ユニット

## 取扱説明書

検索には各ページ上部角のアイコンをお使いになると便利です。

	安全にお使いいただくために	2
	目次と基本操作	5
	MDを聴く	9
	CDを聴く	15
	ラジオを聴く	16
	便利な機能	23
	リモコンで操作する	34



MDA-7745J

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。  
お読みになった後も、説明書を手に置いてご使用ください。  
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。



# 安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。  
この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。  
内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 表示の意味



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。
	Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示しています。		

本機は国内専用です。規格の違う外国では使用できません。  
本機のお手入れは、乾いた布か強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナー類は、ケースが変質/変形しますので絶対に使わないでください。  
夏期など車内の温度が高いときは、車内の温度を下げてから使用してください。



# 安全にお使いいただくために、必ずお守りください

## 警告

### 分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



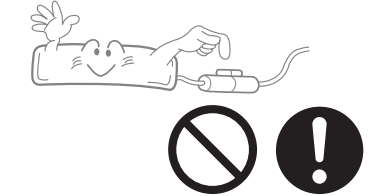
### 小物類は幼児の手の届かないところに保管する

小物類<電池・ネジなど>は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



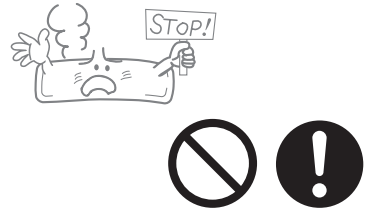
### ヒューズ交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量(アンペア数)を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



### 異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる

音が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常がございましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



### 運転中は操作をしない・表示を見ない

運転中は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作すると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



安全にお使いいただくために



# 注意

## 音量を上げすぎない

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



## 車以外には使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



## 挿入口やすき間には異物を入れない

ディスクの挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。



## 運転の妨げになる操作は停車させてから行う

ディスクの出し入れ操作が運転（シフトレバー操作など）の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。



# 取り扱い上のご注意(共通)

## 本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

# 取り扱い上のご注意(MD)

## ミニディスクの取り扱い

次の点を守ってお使いください。  
シャッターを開けない / 内部にさわらない / 直射日光下に置かない / ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る / ホコリやごみが付いたら拭きとる

## 結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付き誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくと正常に動作します。

## 音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがありますが、プレーヤーには影響ありません。



## 安全にお使いいただくために

警告 / 注意	3
目次	5



## 基本操作

リセットする	6
電源のON / OFF	6
ファンクション・スイッチの使いかた	7
音量 / 音質の調整	8



## MDを聴く

ミニディスクの入れかた / 取り出しかた	9
演奏する	10
曲の早送り / 早戻し	11
曲の頭出し	11
曲のイントロを聴く	12
繰り返し聴く	12
曲順を変えて聴く	13
タイトルを表示する	14
MDチェンジャー(オプション)の操作	15



## CDを聴く

6/12連奏CDチェンジャー(オプション)の操作...15



## ラジオを聴く

放送局を選ぶ(マニュアル)	16
自動で放送局を選ぶ(SEEK)	17
放送局を記憶する(プリセット・メモリー)	18
自動で放送局を記憶する(オート・メモリー)	19
FM / AM放送局を合わせて記憶する	20
記憶させた放送局を受信する	21
道路交通情報	22



## 便利な機能

タイトルをつける	23
タイトルで検索する	26
タイトルを消す	27
ラウドネスのON / OFF	28
瞬時に音量を下げる	28
D.H.E.モードの選択	29
サウンドガイド機能	30
コントラストの調整	31
外部割り込みモードのON / OFF	32
時刻表示機能	33



## リモコンで操作する

基本操作 / MD / CDを操作する / ラジオを聴く...34

## その他

ミニディスクについて	35
故障かな? と思ったら	36
保証について	38
規格	39
D.H.E.について	40
お問い合わせ窓口	42



## MDを聴く

よく使う操作項目には「アイコン(絵表示)」がついています。アイコンは、各ページ上部の角にも載っていますので、検索するときにご利用してください。

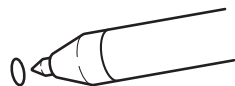


## リセットする



初めて使う、チェンジャーを取り付けた、車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 リセット・スイッチをボールペンなどの先のとがったもので押します。



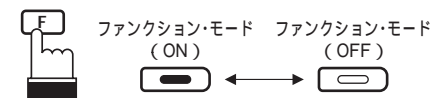
**Memo** リセットした場合、すでに記憶させた内容は消去されますのでご注意ください。

## ファンクション・スイッチの使いかた

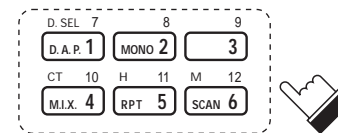


ファンクション・スイッチを覚えて、操作をマスターしよう。

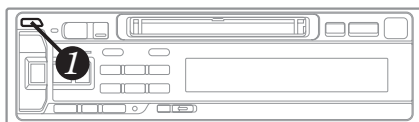
- 1 F(ファンクション)スイッチを押します。  
押すごとにファンクション・モードが切りかわります。



- 2 希望する機能を **D.A.P. 1** ~ **SCAN 6** スwitchのいずれかを押して操作します。  
本機内蔵のMDでは、ファンクション・スイッチは使用しません。



## 電源のON/OFF



- 1 PWR(パワー)スイッチを押します。



- 2 電源を切るときは、再度PWRスイッチを押します。



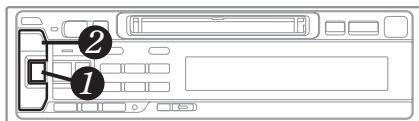
**Memo** ▲(イジェクト)とCLK(クロック)以外のどのスイッチを押しても電源が入ります。

ファンクション・スイッチを使うと **D.A.P. 1** ~ **SCAN 6** スwitchの隠された機能呼び出すことができます。

ファンクション・モード スイッチ	ラジオ		MD / CD(チェンジャー)	
	ON	OFF	ON	OFF
<b>D.A.P. 1</b>	プリセット 1	D.A.P. (ダイレクト・アクセス メモリー・プリセット)	ディスクセレクト1 ディスクセレクト7	
<b>MONO 2</b>	プリセット 2	MONO (ステレオ/モノラル)	ディスクセレクト2 ディスクセレクト8	
<b>3</b>	プリセット 3		ディスクセレクト3 ディスクセレクト9	
<b>M.I.X. 4</b>	プリセット 4		ディスクセレクト4 ディスクセレクト10	M.I.X. (ミュージック・イン クロスプレイ)
<b>RPT 5</b>	プリセット 5		ディスクセレクト5 ディスクセレクト11	RPT (リピート)
<b>SCAN 6</b>	プリセット 6		ディスクセレクト6 ディスクセレクト12	SCAN (スキャン)

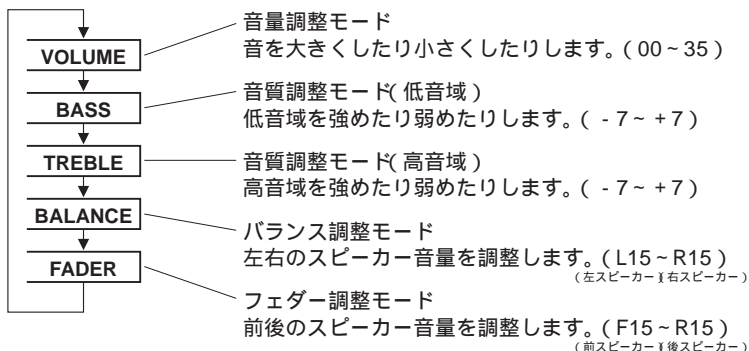


### 音量 / 音質 / バランス / フェダーの調整

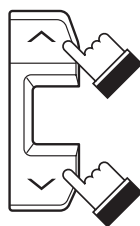


モードを選択して好みのレベルに調整することができます。

- 1 MODE(モード)スイッチを押します。  
押すごとにモードが切りかわるので、調整したいモードを選びます。

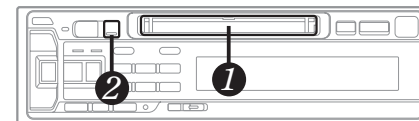


- 2 1でモードを選択したら、5秒以内に 、 スイッチを押してレベルを調整します。

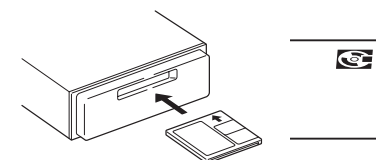


**Memo** モードを選択して5秒間レベル調整を行わなかった場合、モード選択前の表示に戻ります。

### ミニディスクの入れかた / 取り出しかた



- 1 ミニディスクを挿入します。  
図のようにラベル面を上にして、矢印の方向へ挿入してください。  
インジケーターが点灯し、演奏が始まります。



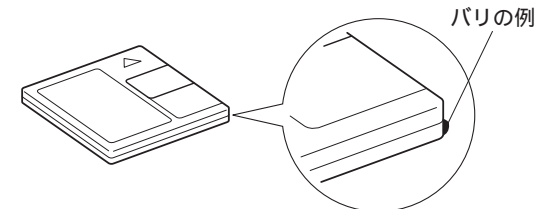
- 2 ▲(イジェクト)スイッチを押します。  
取り出したディスクはケースに入れて保管してください。



挿入できるミニディスクは一枚だけです。  
外側に付いたホコリやごみを落としてから挿入してください。  
重ね貼りしたラベル、はがれかかったラベルが付いたものは使わないでください。  
ミニディスクは自動的に引き込まれます。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。  
電源がOFFの状態でもミニディスクを挿入しないでください。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。

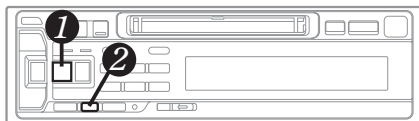
### ミニディスクを挿入する前に

ミニディスクの外側を指で触って「バリ」が無いことを確認してから挿入してください。もし「バリ」があったときは、取り除いてから挿入してください。  
「バリ」を付けたまま挿入しますと動作不良や故障の原因になります。

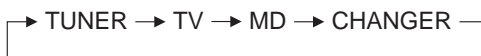




## 演奏する



- 1 SOURCE(ソース)スイッチを押します。  
押すごとにモードが切りかわります。  
ディスプレイの表示を見ながらMDのモードに  
合わせてください。



(各ユニットを接続している場合に表示)



切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

- 2 演奏を一時中止するには、▶/|| スイッチを押します。  
再度、▶/|| スイッチを押すと演奏が開始されま  
す。

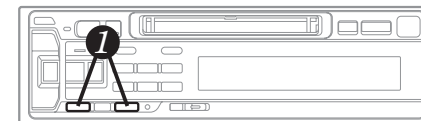


PAUSE

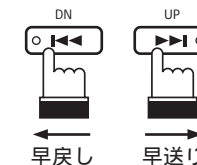
ミニディスクが挿入されているときはディスプレイの **MD-IN** インジ  
ケーター(赤色)が、チェンジャーが接続されているときには、  
**CHG** インジケーター(緑色)が点灯します。



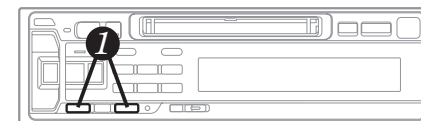
## 曲の早送り / 早戻し をする



- 1 ◀◀スイッチまたは▶▶スイッチを押し  
続けます。  
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が  
始まります。



## 曲の頭出しをする (ミュージック・センサー)

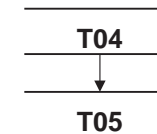


- 1 (演奏中の曲の頭出しをする場合)  
◀◀スイッチを軽く押します。  
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。  
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作  
を繰り返します。



- (次の曲の頭出しをする場合)  
▶▶スイッチを軽く押します。

次の曲の頭から演奏されます。  
聴きたい曲がさらに後にあるときは、この操作  
を繰り返します。



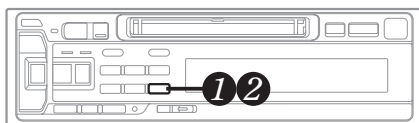


## 曲のイントロを聴く 繰り返し聴く

## 曲順を変えて聴く

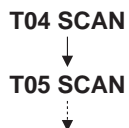


### 曲の初め(イントロ) だけを聴く SCAN(スキャン)



曲の出だしの部分を聴いて、聴きたい曲を探します。

- 1 SCAN (スキャン)スイッチを押します。  
順に、曲の初め(イントロ)だけが10秒間ずつ演奏されます。

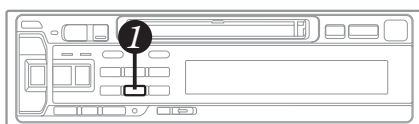


- 2 聴きたい曲が見つかったら、その曲のイントロ演奏中に、再度SCANスイッチを押します。



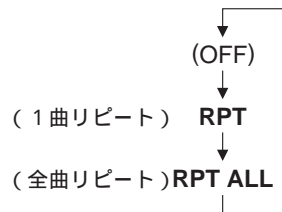
**Memo** 演奏曲が変わり曲名(トラック・タイトル)のスクロール表示を開始してから10秒以内にSCANスイッチを押した場合、「SCAN表示」はスクロール表示終了後に表示されます。

### 繰り返し聴く RPT(リピート演奏)



気に入っている曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 曲が演奏されているときに、RPT(リピート)スイッチを押します。  
解除するには、再度RPTスイッチを押します。

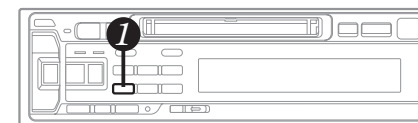


...チェンジャー・モード時



**Memo** 解除しないかぎり、その曲の演奏が終わっても繰り返し演奏されます。チェンジャー(オプション)では、ディスクの全曲繰り返し演奏の全曲リピート(RPT ALL)ができます。M.I.X.演奏のときは、1曲リピートはできません。

### 曲順を変えて聴く M.I.X.



(ミュージック・イン・クロスプレイ)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 M.I.X.(ミュージック・イン・クロスプレイ)スイッチを押します。  
解除するには、再度M.I.X.スイッチを押します。



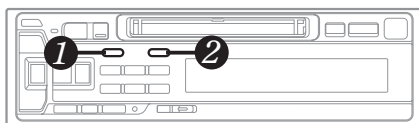
...チェンジャー・モード時



**Memo** 本機内蔵のMDでは、全曲の演奏が終わると、別の順序で演奏されます。チェンジャー(M.I.X. ALL機能をもつ製品)と接続したときは、M.I.X.の次にくる表示がALL M.I.X.になります。これは全てのディスクの曲が順不同に演奏されます。M.I.X.演奏のときは、1曲リピートはできません。

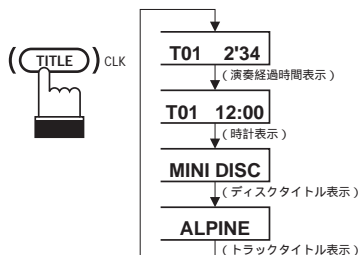


## タイトルを表示する



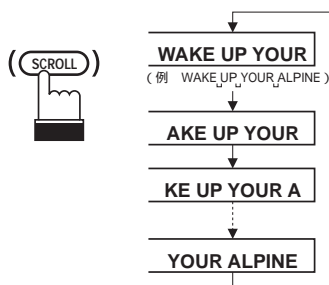
MDのトラック・タイトル(曲名)/ディスク・タイトルを表示させることができます。

- 1 ミニディスク演奏中にTITLEスイッチを押します。  
押すごとに表示が切りかわります。



- 2 ディスク名、曲名が長い(タイトル名が12桁を超える)場合は、SCROLLスイッチを押します。

タイトルを1桁ずつスクロール表示をさせます。最終桁を3秒間表示した後、通常モードに戻ります。

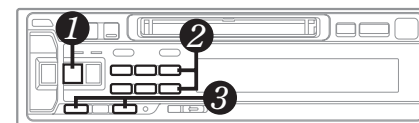


表示中のタイトルが曲名(トラック・タイトル)かディスク名かを知りたい時には、点灯しているインジケータで確認できます。

ディスク・タイトルのとき... / DISC TITLE  
トラック・タイトルのとき... / TRACK TITLE

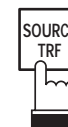
録音/タイトル入力した機器によっては、本機で文字を正確に表示できない場合もあります。

## MDチェンジャー、6/12連奏CDチェンジャーの操作



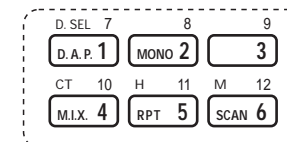
当社のAi-NET対応チェンジャー(オプション)が接続されている場合は、本機からチェンジャーを操作することができます。ディスクを選んだ後は、本機と同様の操作ができます。

- 1 SOURCEスイッチを押してチェンジャー・モードにします。  
押すごとにモードが切りかわります。



- 2 ファンクション・モードが「ON」の時に、1 ~ 6スイッチのいずれかを押して、チェンジャーにセットされているディスクを選択します。

1 ~ 6がディスクNo.1 ~ 6に対応しています。



D3 T01 0'02



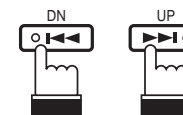
...「ファンクション・スイッチの使いかた」(7ページ)を参照してください。

12連奏CDチェンジャーで、ディスクNo.7~12を選択する場合

- ①ファンクション・モードを「ON」にする。
- ②D.SEL(ディスク・セレクト)スイッチを押す。
- ③1 ~ 6スイッチを押して、ディスクを選択する。
- ④別のディスクを選択する時には、手順①~③を繰り返してください。

- 3 DN または UP スwitchを軽く押して、曲の番号(トラックNo.)を指定します。

演奏が始まります。

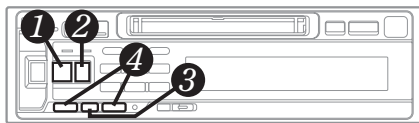


ファンクション・スイッチを利用すれば「RPT」「M.I.X.」等の機能をお使いになれます。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(7ページ)をご覧ください。

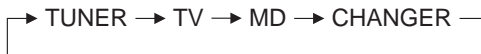




### 周波数で放送局を選ぶ (マニュアル)



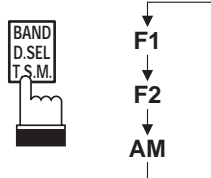
**1** SOURCEスイッチを押します。  
押すごとにモードが切りかわります。  
ディスプレイの表示を見ながらチューナー・モードに合わせてください。



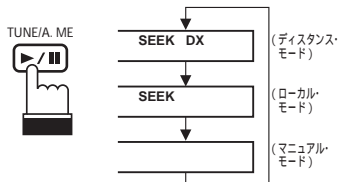
(各ユニットを接続している場合に表示)

*Memo* 切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

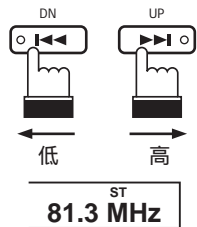
**2** BAND(バンド)スイッチを押して、バンド(FM1、FM2、AM)を選びます。  
押すごとにバンドが切りかわります。



**3** TUNE(チューニング切りかえ)スイッチを押してMANUAL(マニュアル・モード)にします。  
初期設定はインジケータ表示がSEEK DXになっています。

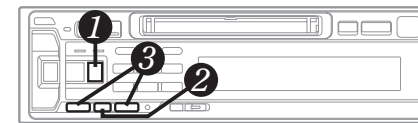


**4** ◀◀スイッチまたは▶▶スイッチを押します。  
押すごとに1段階ずつ周波数が切りかわります。



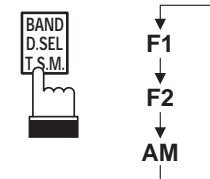
*Memo* ディスプレイにSTインジケータが点灯しているときは、ステレオ放送が受信されている状態になっています。また、ステレオ放送が聴きにくいときはモノラル受信に切りかえることができます。切りかえかたは、19ページ「ステレオ放送が聴きにくいときは」を参照してください。

### 自動で放送局を選ぶ SEEK

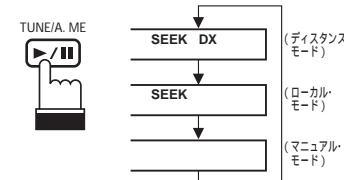


自動(SEEK)で放送局を選ぶときには、あらかじめTUNE(チューニング切りかえ)スイッチで受信感度を設定しておくとう便利です。  
ディスプレイにSEEK DXインジケータが点灯していれば受信感度はディスタンス・モードです。  
SEEKインジケータだけが点灯していればローカル・モードです。

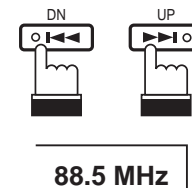
**1** チューナー・モードのときに、BANDスイッチを押してバンドを選びます。  
押すごとにバンドが切りかわります。



**2** TUNEスイッチを押します。  
押すごとにモードが切りかわります。  
ディスタンス/ローカル・モードのいずれかを選びます。  
初期設定はインジケータ表示がSEEK DXになっています。



**3** ◀◀スイッチまたは▶▶スイッチを押します。  
放送局を探し始め、受信するとその局の放送を始めます。別の放送局を探すには、再度、◀◀スイッチまたは▶▶スイッチを押します。



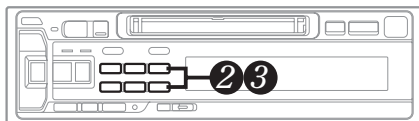
*Memo* 受信感度には次の2種類があります。  
DX(ディスタンス)モード...電波の強弱にかかわらず、受信可能な放送局がすべて受信されます。  
ローカル・モード.....電波の強い放送局だけが受信されます。

ラジオを聴く



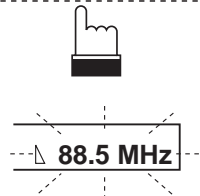
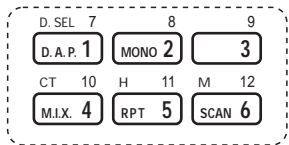
### 放送局を記憶する

(プリセット・メモリー)

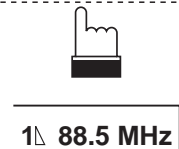
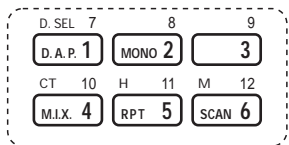


1 16、17ページを参照し、記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

2 プリセット(□1~□6)スイッチのいずれか1つを2秒以上押します。ディスプレイの周波数が点滅します。



3 ディスプレイの周波数が点滅している間(約5秒以内)に記憶させたいプリセット(□1~□6)スイッチを押します。放送局が記憶(プリセット)されると、ディスプレイの周波数が点滅から点灯に変わります。



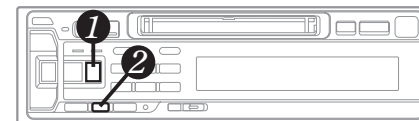
4 さらに放送局の記憶を続けるには、手順1~3を繰り返し行います。

**Memo** プリセット(□1~□6)およびD.A.P.スイッチの使いかたは「ファンクション・スイッチの使いかた」(7ページ)を参照してください。放送局は全部で24局記憶できます。FM1...6局、FM2...6局、AM...6局、FM+AM...6局(D.A.P.)すでに記憶させたプリセット・スイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局の方が有効になります。記憶させた放送局は、接続コード(バッテリー電源コード)を外すと消去されますのでご注意ください。

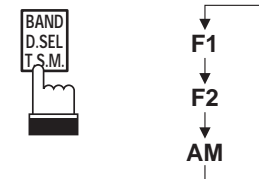


### 自動で放送局を記憶する A.ME

(オート・メモリー)



1 BANDスイッチを押して受信したいバンドを表示させます。



2 A.ME(オート・メモリー)スイッチを2秒以上押します。

電波の強い順に6つの放送局を自動的に受信し、□1~□6スイッチに記憶させます。自動記憶が終わると□1スイッチに記憶された放送局が受信されます。



**Memo** 放送局を1つも受信できなかったときは、自動記憶の操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

ステレオ放送が聴きにくいときはモノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。

ファンクション・モードが「OFF」の時に、MONO(モノラル)スイッチを押します。STインジケーターが消え、モノラル受信に切りかわります。ステレオ受信に戻すには、再度MONOスイッチを押します。

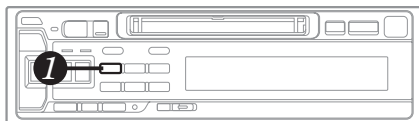
...「ファンクション・スイッチの使いかた」(7ページ)を参照してください。





## FM / AM放送局を合わせて記憶する D.A.P.

(ダイレクト・アクセスメモリー・プリセット)



FM放送局とAM放送局を合わせて6局記憶することができます。

- 1 ファンクション・モードが「OFF」の時に、D.A.P.スイッチを押します。  
解除するには、再度D.A.P.スイッチを押します。



...「ファンクション・スイッチの使いかた」(7ページ)を参照してください。

- 2 放送局を選択して記憶させます。

放送局の選択・記憶のしかたは「自動で放送局を記憶する A.ME(オート・メモリー)」(19ページ) または「放送局を記憶する(プリセット・メモリー)」(18ページ)を参照してください。

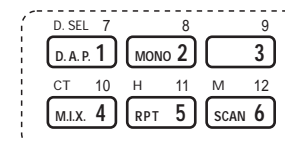


D.A.P.機能を使って記憶させたときは、D.A.P.スイッチを押します。「FM / AM放送局を合わせて記憶する」(20ページ)を参照してください。

**D.A.P.**

- 2 記憶させた放送局のプリセット (  1 ~  6 ) スイッチのいずれか1つを押します。

選択した放送局が受信されます。

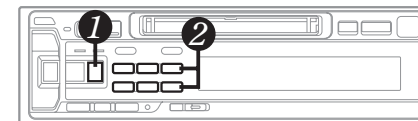


F1 2 82.5

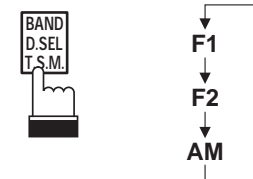


プリセットの受け付けは、ファンクション・モードが「ON」の時です。詳しくは「ファンクション・スイッチの使いかた」(7ページ)を参照してください。

## 記憶させた放送局を受信する



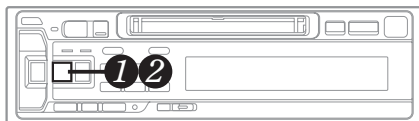
- 1 BANDスイッチを押して、バンドを選びます。  
押すごとにバンドが切りかわります。





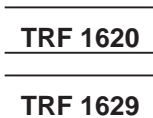
# 道路交通情報を聴く TRF

(トラフィック・インフォメーション)



MD、ラジオのいずれかを聴いているときでも、交通情報を受信することができます。

- 1 TRF(トラフィック・インフォメーション)スイッチを2秒以上押します。  
TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信します。



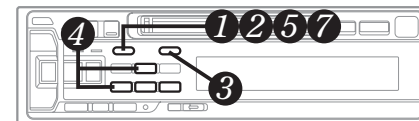
*Memo* スイッチを押して1620kHz、1629kHzを切りかえます。

- 2 TRFモードを解除するには、再度TRFスイッチを押します。



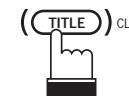
# タイトルをつける TITLE

(タイトル・メモリー)

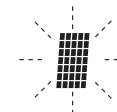
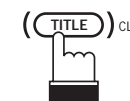


お好みのラジオ放送局やCDにタイトルをつけることができます。  
「アルファベット」「カタカナ」「数字」「記号」の入力が可能です。

- 1 チューナー/チェンジャー・モードのときに、TITLE(タイトル)スイッチを押します。  
タイトル表示モードにします。  
詳しくは「タイトルを表示するには」(25ページ)を参照してください。



- 2 TITLEスイッチを3秒以上押します。  
ディスプレイの1桁目が点滅し、入力可能となります。

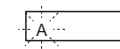
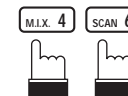


- 3 SCROLL(スクロール)スイッチを押して入力する文字モードを選びます。  
モードは、アルファベット、カタカナ、数字、記号から選べます。  
(25ページの文字記号一覧表参照)

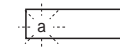
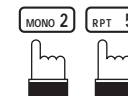


## 4 アルファベット、数字、記号入力の場合

- (1) スイッチを押します。  
押すごとにA B C...と切りかわります。  
 スイッチは逆に切りかわります。



- 小文字にするには、 スイッチを押します。  
 スイッチを押すと、大文字に戻ります。



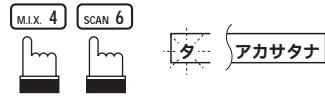
(数字/記号での小文字、大文字の切りかえはありません。)

便利な機能

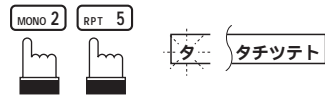


カタカナ入力の場合

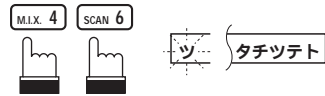
(1) [MIX 4] スイッチを押します。
押すごとにアカサタナ...と切りかわりますので、50音の「行」を選びます。
[SCAN 6] スイッチは逆に切りかわります。



(2) [MONO 2] または [RPT 5] スイッチを押します。
表示が「列」に切りかわります。



(3) [MIX 4] または [SCAN 6] スイッチを押して、
入力したい文字を選びます。



促音(小文字)にするには、[RPT 5] スイッチを押します。[MONO 2] スイッチで、通常文字に戻ります。
(入力可能な促音は「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」「ツ」です。)

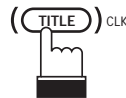


5 TITLEスイッチを軽く押します。
1桁目が確定し、2桁目が点滅します。



6 3から5を繰り返して、10桁まで入力できます。
(チェンジャーは8桁までの入力となります。)
10桁未満のとき(チェンジャーは8桁未満)はTITLEスイッチを3秒以上押し、タイトル入力を終了させます。

7 解除するには、TITLEスイッチを押して表示モードを切りかえます。



ディスプレイに「Full Data」と表示されたときは、メモリーがいっぱいになっています。このときに、新しいタイトルを入力すると最初に入力した一番古いタイトルが消え、新しいタイトルがメモリーされます。
チューナー・モード時、タイトル名を消すには、25ページ 文字記号一覧表 の(スペース)を選び、上記操作手順同様に入力します。
記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されますのでご注意ください。

〈文字記号一覧表〉

・アルファベット

Table with 10 columns and 3 rows of letters A-Z and their lowercase counterparts.

・カタカナ

Table with 10 columns and 6 rows of Katakana characters.

・数字

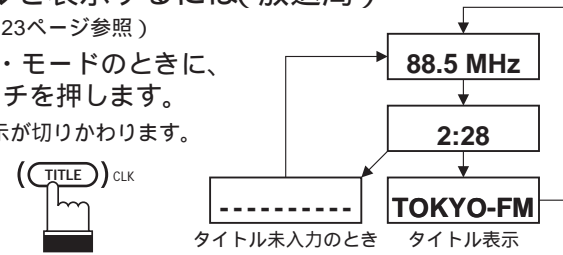
Table with 10 columns and 2 rows of numbers 0-9.

・記号

Table with 10 columns and 3 rows of various symbols and punctuation.

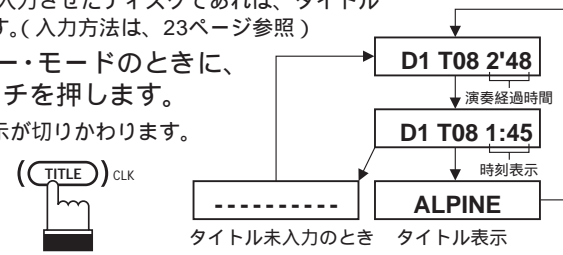
タイトルを表示するには(放送局)

(入力方法は、23ページ参照)
チューナー・モードのときに、TITLEスイッチを押します。
押すごとに表示が切りかわります。



タイトルを表示するには(CD)

CDタイトルを入力させたディスクであれば、タイトル表示ができます。(入力方法は、23ページ参照)
チェンジャー・モードのときに、TITLEスイッチを押します。
押すごとに表示が切りかわります。

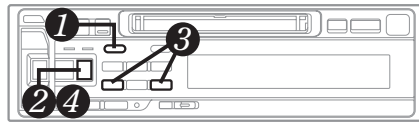


便利な機能



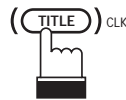
## 記憶させたタイトルから 曲を検索する

T.S.M.(タイトル・サーチ・メニュー)



記憶させたCDチェンジャーのディスク・タイトルを表示させて、聴きたい曲を検索し、演奏させることができます。

1 TITLEスイッチを押して、タイトル表示モードにします。

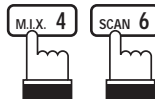


2 T.S.M.(タイトル・サーチ・メニュー)スイッチを3秒以上押します。

T.S.M.モードがスタートし、CDチェンジャーのディスク・タイトルが点滅表示します。



3 **MIX 4** または **SCAN 6** を押して、聴きたいディスクのタイトルを探します。



4 聴きたいディスクのタイトルが表示されたら、T.S.M.スイッチを押します。

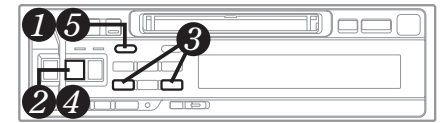
T.S.M.モードを解除し、演奏が始まります。



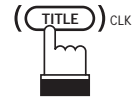
きれいな音で楽しむには  
音楽を聴いているときの「パチパチ、ヒューヒュー」といった雑音は、車両雑音がオーディオ・システムに進入してきたために起こる現象です。このような場合、アース線の接続にゆりみがないかチェックしてください。また、ノイズフィルタを使えば効果的に雑音を減らすことができますので、販売店にお問い合わせください。



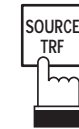
## 記憶させたタイトル を消す



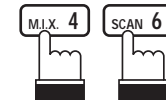
1 チェンジャー・モードのときに、TITLEスイッチを押し、タイトル表示モードにします。さらに3秒以上押します。ディスプレイの1桁目が点滅します。



2 SOURCEスイッチを3秒以上押します。再生中のディスクにかかわらず、最初にメモリーされたタイトルが点滅して表示されます。



3 **MIX 4** または **SCAN 6** スwitchを押して、消したいタイトルを探します。



4 タイトルが見つかったら、SOURCEスイッチを3秒以上押します。タイトルが消え、他のタイトルを表示します。



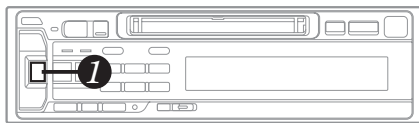
5 解除するには、TITLEスイッチを3秒以上押します。





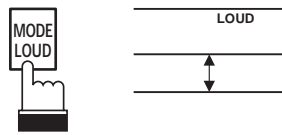
## ラウドネスのON/OFF 瞬時に音量を下げる

### ラウドネスをON/OFF する

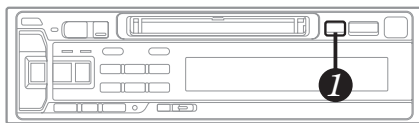


人間の耳は音が小さくなると高音や低音が聴こえにくくなります。この音域の不足感を補うために高音・低音域を強調させ、聴きやすくさせるのがラウドネス機能です。

- LOUD (ラウドネス) スイッチを2秒以上押しします。  
LOUDインジケーターが点灯します。  
解除するには、再度LOUDスイッチを2秒以上押しします。



### 瞬時に音量を下げる MUTE (ミュート)



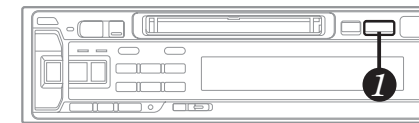
- MUTE (ミュート) スイッチを押しします。  
解除するには、再度MUTEスイッチを押しします。



## D.H.E.モードの選択



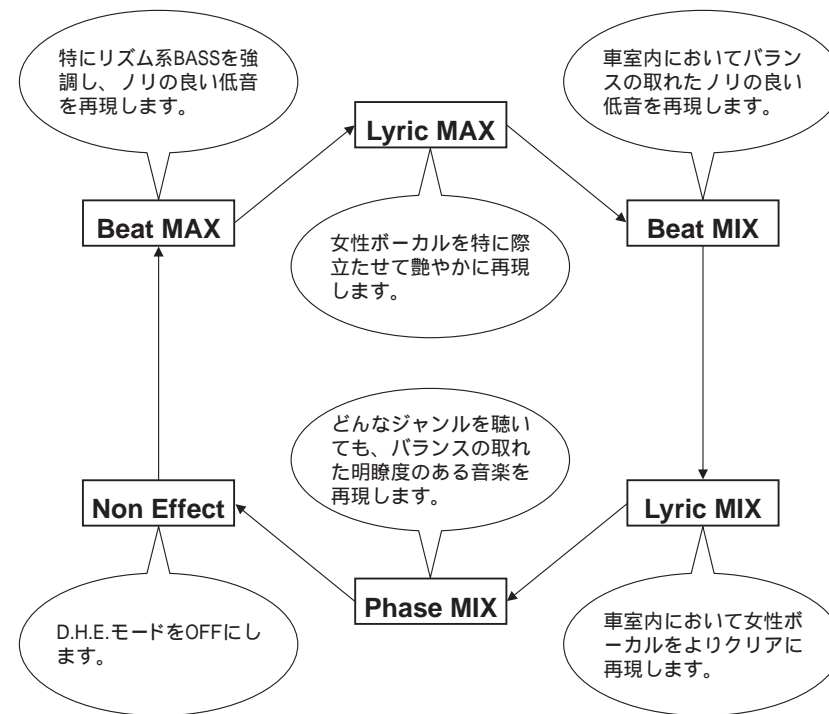
### D.H.E.モードを選択 する



D.H.E.( Digital Harmonics Enhancer ) は、デジタル信号処理技術を用いて、楽器などの音色を決定する「倍音成分」を操作しています。

周波数帯域毎に独立に操作することにより、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内に於いても音楽をクリアに再生することができます。

- D.H.E.スイッチを押しします。  
押すごとに表示が切りかわります。  
お好みのモードを選んでください。



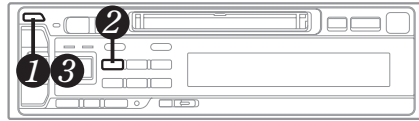
便利な機能



D.H.E.機能の詳しい説明は、P.40-P.41のD.H.E.についてをご覧ください。



## サウンドガイド機能



スイッチを押したときに鳴るBEEP(音)を消すことができます。

**1** INTLZスイッチを3秒以上押します。



**2** プリセット **D.A.P.1** スwitchを押します。  
押すごとに表示が切りかわります。

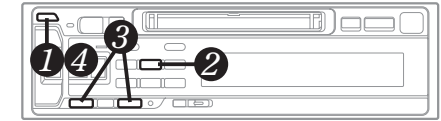


*Memo* 工場出荷時の設定は、BEEP ON になっています。

**3** 設定が終了したらINTLZスイッチを押します。

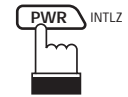


## コントラストを調整する



ディスプレイ表示が見えにくいときは、コントラスト(明るさ)を調整することができます。

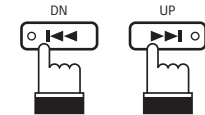
**1** INTLZスイッチを3秒以上押します。



**2** プリセット **MONO 2** スwitchを押します。

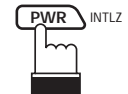


**3** ◀◀/▶▶スitchを押して、明るさを調整します。  
-6 ~ +6までの段階で調整することができます。



*Memo* 工場出荷時の設定は、0 になっています。

**4** 設定が終了したらINTLZスイッチを押します。

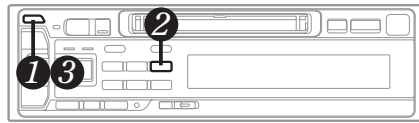


便利な機能





### 外部割り込みモードのON/OFF

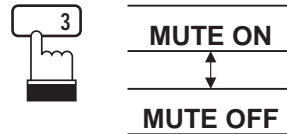


Ai割り込みBOX( NVE-K200 )と組み合わせ、ナビゲーションでの「音楽CD演奏」、TVチューナーでの「テレビ音声」を割り込ませる場合に使用します。詳しくは、NVE-K200側の説明書を参照してください。

1 INTLZスイッチを3秒以上押します。



2 プリセット [3] スイッチを押します。  
押すごとに表示が切りかわります。

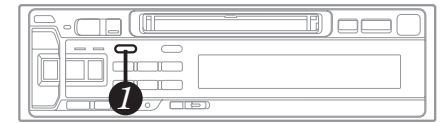


*Memo* この機能は、将来の拡張機能で、IN INT (音声割り込み) コードが接続されている場合に有効となります。

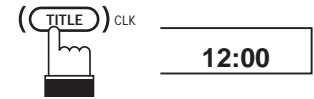
3 設定が終わったらINTLZスイッチを押します。



### 時刻を表示する

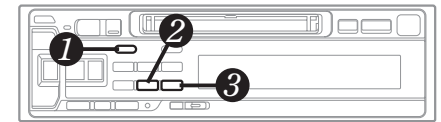


1 CLK( クロック )スイッチを押します。  
時刻が表示されます。

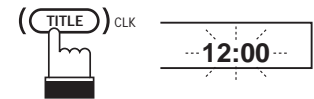


*Memo* 時刻を表示しているときにラジオ / MDの操作をしても、各操作モードを表示してから5秒後には時刻表示に戻ります。本体の電源がOFFの状態でも車のイグニッション・キー( エンジン・キー )がONのときに、CLKスイッチを押すと時刻を表示します。エンジンが停止している状態のときに長時間ご使用にならないください。バッテリーが放電し、エンジン始動に支障をきたす場合があります。

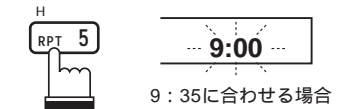
### 時刻を設定する



1 電源がONのとき、CLKスイッチを押して時刻を表示させます。さらにCLKスイッチを3秒以上押します。  
時刻が点滅します。

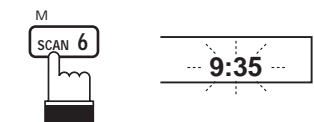


2 点滅中に [RPT 5] スイッチを押して「時」を合わせます。



9 : 35に合わせる場合

3 点滅中に [SCAN 6] スイッチを押して「分」を合わせます。



*Memo* 各設定は点滅している間に行ってください。5秒後に時刻が確定されます。時報に合わせるときは、手順2の「時」設定後、[MIX 4] スイッチを押します。分表示が00になります。時刻が「:30」を過ぎた表示のときに[MIX 4] スイッチを押すと「時」は繰り上がった時刻を表示します。例えば、「9:35」のときに[MIX 4] スイッチを押すと、「10:00」を表示します。

便利な機能



## 基本操作

### 音量調整スイッチ

音量を大きくします。... スイッチ  
音量を小さくします。... スイッチ

### ミュート・スイッチ

瞬時に20dB音量を下げます。再度押すと解除します。

### 電源スイッチ

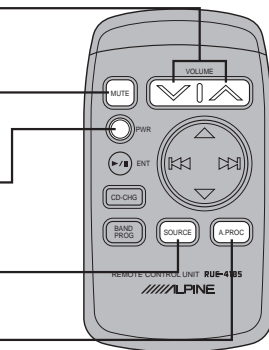
電源のON / OFFを行います。

### オーディオ・ソース選択スイッチ

オーディオ・ソースを切りかえます。

### オーディオ・プロセッサ・スイッチ

本製品では使用しません。



## MD / CDを操作する

### ミュージック・センサー・スイッチ

曲の頭に戻ります。さらに押すと手前の曲の頭出しを行います。押し続けると早戻しします。

### DISCセレクト・スイッチ\*

ディスクNo.が切りかわります。

### プレイ / ポーズ・スイッチ

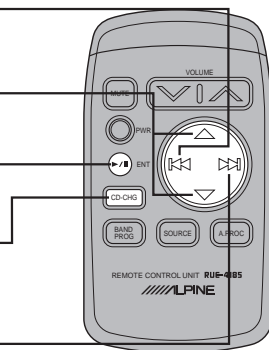
### CDチェンジャー・スイッチ

CDチェンジャー操作に切りかえます。

### ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。

\*チェンジャー接続時



## ラジオを聴く

### チューニング・スイッチ

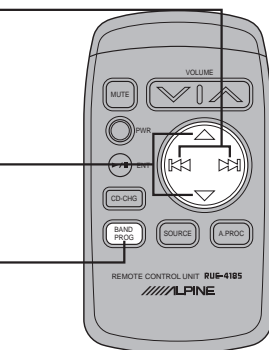
放送局を選びます。  
押すごとに周波数が変わります。(SEEK)

### プリセット・アップ / ダウン・スイッチ

プリセットNo.を切りかえます。

### バンド・スイッチ

バンドを切りかえます。



## ミニディスクとは

カートリッジの中に直径64mmのディスクが収められたもので取り扱い性に優れています。ディスクに触れずに信号を読み取りますので、テープのように絡んだり音質が劣化することがありません。記録方式はATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding)と言う圧縮技術を利用して音楽データを約1/5にしてありますが、CDに迫る音質を実現しています。

## 取り扱い

ミニディスクはカートリッジに収納されているためホコリや指紋が付く心配がありません。ただし、カートリッジの汚れがすき間から入ったり、正しい取り扱いをしないと誤動作の原因になることがありますので、次のことを守ってお使いください。

シャッターを開けない

内部にさわらない

ホコリやごみが付いたら拭きとる

(外側や裏面中央の円形部)

直射日光下に置かない

砂やホコリが入りやすい場所には置かない

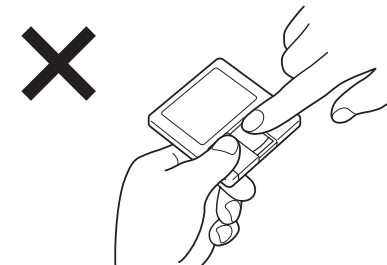
ラベルは正しい位置に貼る

ラベルは一枚だけ貼る

ラベルははがれないように貼る

聴かないときはケースに入れて保管する

シャッターを開けない



本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。それでも調子が悪いときは、お買上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

症状	原因	処置	
共通部	動作しない。 ディスプレイに何も表示されない。	車のイグニッション・キーがOFFになっている。	車のイグニッション・キーをONにする。
		本機の電源が入っていない。	車のイグニッション・キーをONにし、本機のPWRスイッチを押して、電源を入れる。
		電源コードの接続が不完全。	電源コードの接続を確実に行う。
		ヒューズが切れている。	規定容量のヒューズと交換する。
		内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。	リセット・スイッチをボールペンの先などで押す。
電源は入るが音が出ない。	音量レベルが最小になっている。	音量レベルを上げる。	

症状	原因	処置	
ラジオ部	受信できない。	アンテナが接続されていない。または伸びていない。	アンテナが確実に接続されているか確認する。
	自動的に放送局を選ばない。	電波の弱い地域にいる。	DX(ディスタンス)モードで受信する。
		アンテナが確実に取り付けられていない。またはアース線が接続されていない。	アンテナが確実に取り付けられているか、アース線が正しく接続されているか確認する。
		アンテナの長さが適切でない。	アンテナを十分に伸ばす。破損している場合は、新しいものと交換する。
雑音が入る。	アンテナの長さが適切でない。	アンテナを十分に伸ばす。破損している場合は、新しいものと交換する。	
	アンテナのアース線の接続が不完全。	アンテナのアース線を確実に接続する。	
	電波が弱く、雑音が多い。	雑音が少なくなるまで、別の放送局を受信する。	

症状	原因	処置	
MD部	演奏が始まらない。	車内温度が50 以上ある。	車内温度を適温まで下げてから、演奏させる。
	音が歪む。	プレーヤーの内部に水滴が付いている。	完全に露がとれてから(約1時間後)使う。
	ミニディスクが入らない。	すでに別のミニディスクが入っている。	ミニディスクを取り出してから入れ直す。
		ミニディスクの入れ方が間違っている。	本書を参照し、正しく入れる。
	早送り/早戻しができない。	ミニディスクに傷がついている。	ミニディスクを交換する。
	振動で音がとぶ。	本機が正しく取り付けられていない。	正しく取り付け直す。
	振動がないのに音がとぶ。	ミニディスクの傷、ミニディスクの汚れ。 録音状態が良くない。	ミニディスクを交換する。

症状	原因	処置
<b>High Temp.</b>	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。 イジェクト・スイッチを押して、ディスクを取り出す。
<b>ERROR</b>	メカニズム・エラー。	①イジェクト・スイッチを押す。 ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ③それでも復旧しない... サービス・ショップへ。
<b>NO DISC</b>	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。

その他

## 保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。  
必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

## アフターサービスについて

調子が悪いとき.....まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。  
それでも調子が悪いとき...保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップに、修理を依頼してください。

保証期間中の修理.....保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理.....修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品.....製造打切り後、最低6年間保有しています。

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

## &lt; チューナー部 &gt;

受信周波数..... AM ; 522 ~ 1,629kHz, FM ; 76.0 ~ 90.0MHz  
実用感度..... AM ; 22.5 $\mu$ V, FM ; 0.8 $\mu$ V( 75 ) : 9.3dB( 新IHF )  
ステレオ・セパレーション..... FM ; 35dB以上  
SN比 ..... FM ; 65dB以上  
周波数特性..... FM ; 30 ~ 15,000Hz  
イメージ妨害比..... FM ; 80dB以上  
IF妨害比..... FM ; 80dB以上

## &lt; MD部 &gt;

周波数特性..... 20Hz ~ 20kHz (  $\pm$ 0.5dB )  
ダイナミック・レンジ..... 90dB ( 1kHz ) 以下  
SN比 ..... 90dB ( 1kHz ) 以上  
ワウフラッター..... 測定限界以下

## &lt; 一般 &gt;

使用電源..... DC14.4V ( 動作範囲 ; 11 ~ 16V )  
アース方式.....  $\ominus$ アース  
最大出力..... 40W  $\times$  4  
出力レベル..... 500mV / 10k  
バス・コントロール.....  $\pm$  15dB ( 30Hz )  
トレブル・コントロール.....  $\pm$  10dB ( 10kHz )  
外形寸法..... 17 $\phi$ ( 幅 )  $\times$  5 $\phi$ ( 高さ )  $\times$  15 $\phi$ ( 奥行 )mm  
重量..... 1.5kg

この製品はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

## &lt; 付属品 &gt;

品 名	数 量
取付用部品類	1 式
電源コード	1
取扱説明書・保証書類	1 式

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

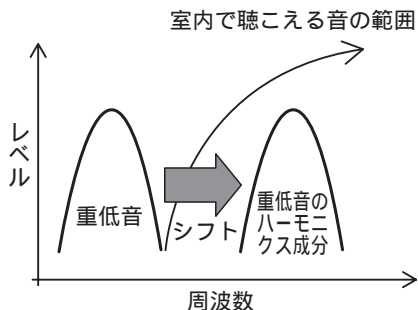
MDは、高度な圧縮技術「ATRAC」により直径64mmのディスクに最長74分もの録音を可能にした。「ATRAC」は、マスキング効果（小さい音は大きい音に隠れて聴こえなくなってしまう）や最小可聴次元性とよばれるヒアリング・スレッシュールド特性（低音域や高音域は中音域よりも聴こえにくい）を考慮して聴感上問題のない音のデータを取り去っているのだ。しかし聴感上問題は無いとは言え、これは表情豊かな音楽再生に必要なハーモニクス成分もカットしているのである。

### 新開発D.H.E.(Digital Harmonics Enhancer)はここがすごい!

#### きわだつ重低音

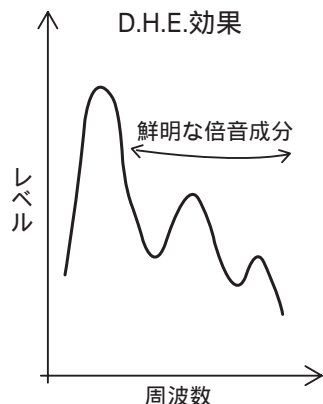
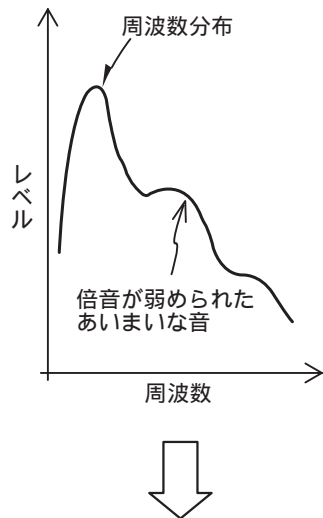
さまざまな制約の多い車室空間。ガラス/レザー/クロスなど音を吸収反射する素材に包まれたり、走行ノイズに邪魔されるなど音響空間としては問題が多い。更に低音を聴くためには大きな口径のスピーカーが必要だが、車内に確保するのは難しい。

D.H.E.は音楽中の低音成分から重低音部分の成分を抽出し車載スピーカーでも再生しやすい帯域にシフトすることで、今まで不可能だった重低音の再生を可能にした。



#### 艶やかでみずみずしい音色の実現

音響的に音を特徴づけているのは「ハーモニクス（倍音）」と呼ばれているもの。基本周波数の奇数倍の振動で音色を決める重要なファクターである。D.H.E.は音楽からハーモニクス成分を抽出し、デジタル処理を施し、音楽を特徴づけている「ハーモニクス（倍音）」を強調する。表情が豊かに成った音に必ず感動するはずだ。



#### 原音をクリアに再現

イコライザーやサラウンド機能での補正は、音バランスの狂いや位相のズレなどで音がぼやけてしまうことがあった。その音楽自身から「ハーモニクス（倍音）」を抽出しデジタル処理するD.H.E.は、そのような問題は一切起こらない。シャープな音像、クリアなセパレーションなど今まで味わえなかった「臨場感」を経験できる。

### この音を楽しんでもらうために5つの「D.H.E.モード」を用意!

- Beat MAX  
リズム系ベースサウンドを強調。ノリの良い低音で迫る。
- Lyric MAX  
強く、艶やかに際だつ女性ボーカル。
- Beat MIX  
バランスの取れたノリのいいベースサウンド。
- Lyric MIX  
クリア、そしてリアルな女性ボーカル。
- Phase MIX  
バランス重視。あらゆるジャンルの音楽をクリアに再生。

お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げになった販売店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。

修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。

ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

アルパインインフォメーションセンター 営業時間 9:30 ~ 17:30 (平日の12:00 ~ 13:30迄と、土日祝祭日は除く) TEL: 03-3779-0711

Table with 4 columns: 営業所・販社名, 電話番号, 住 所, 営業所・販社名, 電話番号, 住 所. Lists various branches across Japan.

修理ご相談窓口

Table with 4 columns: 管轄エリア, 問い合わせ窓口, 電話番号, 住 所. Lists repair service centers across various regions.

修理ご相談窓口

Table with 4 columns: 名 称, 電話番号, 住 所, 名 称, 電話番号, 住 所. Lists repair service centers across various regions.